

令和4年11月18日

文化審議会の答申（登録有形文化財（建造物）の登録）

文化審議会（会長 佐藤 信）は、令和4年11月18日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに109件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は13,639件となる予定です。

1. 今回答申された登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累 計
登録件数	109	13,639
関係都道府県数	22	47
関係市町村(区)数	37	1,004

○時代別 (件)

	江戸以前	明治	大正	昭和			計
				前期 (S元～ S20)	中期 (S21～ S40)	後期 (S41～ S64)	
新規登録	13	37	24	26	9	0	109
累 計	2,432	4,305	2,769	3,517	572	44	13,639

○種 別 (件)

	産 業			交通	官公 庁舎	学校	生活 関連	文化 福祉	住宅	宗教	治山 治水	他	計
	1次	2次	3次										
新規	0	21	10	3	0	10	0	4	49	10	0	2	109
累 計	123	1,438	1,701	515	240	432	337	467	6,103	1,973	223	87	13,639

(件)

	建 築 物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	93	0	16	109
累 計	10,831	664	2,144	13,639

今回の答申における主なもの

① ニシン御殿を改修した近代和風ホテル

001 銀鱗荘日本館（旧猪俣家住宅） 北海道小樽市 明治後期／昭和13年移築

余市に所在した望楼付きニシン漁家主屋を移築し、宿泊施設として改修したもので、50畳もの大広間に堂々とした床構えを配す。神棚や囲炉裏等がニシンで栄えた時代を伝え、玄関ホール等に日本画家の安藤瀨埠（栖阜）の図案による装飾を加え、意匠を凝らした近代和風ホテル。



② 本格的チューダー様式の洋風住宅

008 旧渡辺甚吉邸主屋 茨城県取手市 昭和9年／令和4年移築

東京白金台に所在した実業家の近代洋風住宅で、鉄平石貼りにハーフティンバーとする玄関が目を引く。内部は瀟洒なタイルや石材と、木部の濃密な装飾で、隙のない空間を作り上げる。遠藤健三、山本拙郎、今和次郎の共作。落ち着いた佇まいで我が国のチューダー様式住宅の傑作。



③ 現役の近代和風弓道場

009 本多流洗心洞（高木道場）弓道場 埼玉県久喜市 昭和7年頃／平成23年改修

旧清久村の旧家で、東京大学弓術部師範を務めた医家の弓道場。高い天井で板間の射場を中心に、師範の席で床構え付きの上座、畳敷きの控え、弓置き場を周囲に配する。安土を置く的場とともに典型的な弓道場で、良質な近代和風建築。



提供：久喜市教育委員会

④ ^{すげがさ}菅笠の郷で洪水に備える土蔵

050 石川家住宅^{だんぐら}段蔵 大阪府大阪市 明治22年頃／大正後期・平成28年改修

菅笠の郷として知られる^{ふかえ}深江に所在する土蔵で、旧家の宏大な屋敷構えの一角を成す。明治18年洪水被害の後に建築したもので、高石垣に建つ「^{だんぐら}段蔵」と呼ばれる形式。屋敷は主屋の^{おもや}吊り仏壇など洪水に備えた知恵を伝える。町角の地域資源を活かす住民の取り組み「深江まるごとミュージアム」の展示建物。



⑤ 和風時計塔がシンボルの近代学校建築

098 高知^{おうてまえ}追手前高等学校本館 高知県高知市 昭和6年／同中期改修

高知城から延びる^{おうてすじ}追手筋に面する鉄筋コンクリート造学校建築。インターナショナルスタイルの3階建ての中央に、^{ほうぎょうづくり}宝形造屋根の和風塔屋を設けて、いわゆる帝冠様式とする。教室や廊下は腰板壁の落ち着いた空間で、^{ほうあんてん}屋上の奉安殿は時代性を伝える。鉄骨造の和風塔屋は時計台として街のシンボルでもある。



⑥ 洪水の被害を乗り越える公衆温泉浴場

108 ^{こうしゅうおんせんしんおんせん}公衆温泉新温泉 熊本県人吉市 昭和6年頃

人吉市の市街地にある木造の公衆温泉浴場。男女別の脱衣室と浴場を田の字に配し、ガラス戸を多用して開放的で、入口に番台を置く近代公衆浴場の典型。令和2年洪水被害を受け、有志が集まり復旧し、活用に向けて活動中。



<担当> 文化庁文化財第二課電話：03-5253-4111（代表）

課長 山下 信一郎

課長補佐 田中 佳幹

登録部門 黒坂 貴裕、清永 洋平、須藤 洋行（内線 2797）

審議会係 森 幸一郎、内田 奈緒（内線 3160）

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	基準
96	旧陸軍歩兵第四連隊弾薬庫	高知県高知市	M後期/S中期改修	市内西部の旧陸軍跡地にある弾薬庫と講堂で、戦後は国立印刷局の三樞(みつまた)・樞(こうぞ)倉庫として用いられた。弾薬庫は煉瓦造平屋建てで、正面に下屋を付す。高床で湿気を抑え、内部は天井・壁・床を板張りとする三室を並べる。講堂は木造平屋建てで、下見板張りの外観に窓を多く配す。当初は内部を三室に区切り、下士官の講義室とした。	その他 建築物	2
97	旧陸軍歩兵第四連隊講堂	高知県高知市	M後期/S中期改修	高知城下の追手筋に面する鉄筋コンクリート造三階建ての校舎。中央に宝形屋根の時計塔を設け、左右対称に翼部を配した記念碑的な外観。武田五一(たけだごいち)指導の下で泉宮構技師が設計した、県下を代表する近代学校建築。	その他 建築物	2
98	高知追手前高等学校本館	高知県高知市	S6/同中期改修	工学部本館は鉄筋コンクリート三階建て、外壁スクラッチタイル貼りの校舎。中央塔屋と、その両側に半円筒の張り出しを付し、上層は役物タイルで陰影をつけて、城塞(じょうさい)のようなシンボリックで重厚な外観とする。本部事務室棟と建築課棟は大正12年の火災後の復興で、工科大学本館の部材と寄付資材で建築した煉瓦造二階建て。中央塔屋とモルタル洗出し仕上げのコーニスで均整の取れた外観とする。門衛所は大学箱崎地区最古の建築。煉瓦造平屋建て、寄棟造りスレート葺きの小建築。玄関上部はプロダクトデザインで意匠を凝らす。堂々とした建築群で大学の長い歴史とその変遷を示す。	学校 建築物	2
99	旧九州帝国大学工学部本館	福岡県福岡市	S5/S63改修	榎津(えのきづ)の町並みに所在する浄土真宗寺院。本堂は入母屋造り平入りで、正面向拝を付し、内部は典型的な浄土真宗本堂の間取り。向拝廻りと内外障欄間に華やかな彫刻を施す。離れ座敷は本堂の背面に接続し、続き間座敷とその周囲に廊下を巡らす。床構えは床脇の奥まった配置に地域色があがる。山門は切妻造り棧瓦葺きの薬医門で、木柄太く質実。木工で知られる町並みの歴史的景観を形成する。	学校 建築物	2
100	旧九州帝国大学本部事務室棟	福岡県大川市	T14/S39・同43改修	榎津(えのきづ)の町並みに所在する浄土真宗寺院。本堂は入母屋造り平入りで、正面向拝を付し、内部は典型的な浄土真宗本堂の間取り。向拝廻りと内外障欄間に華やかな彫刻を施す。離れ座敷は本堂の背面に接続し、続き間座敷とその周囲に廊下を巡らす。床構えは床脇の奥まった配置に地域色があがる。山門は切妻造り棧瓦葺きの薬医門で、木柄太く質実。木工で知られる町並みの歴史的景観を形成する。	学校 建築物	2
101	旧九州帝国大学本部建築課棟	福岡県大川市	T14/S40・同48改修	榎津(えのきづ)の町並みに所在する浄土真宗寺院。本堂は入母屋造り平入りで、正面向拝を付し、内部は典型的な浄土真宗本堂の間取り。向拝廻りと内外障欄間に華やかな彫刻を施す。離れ座敷は本堂の背面に接続し、続き間座敷とその周囲に廊下を巡らす。床構えは床脇の奥まった配置に地域色があがる。山門は切妻造り棧瓦葺きの薬医門で、木柄太く質実。木工で知られる町並みの歴史的景観を形成する。	学校 建築物	2
102	旧九州帝国大学門衛所	福岡県大川市	T3/同13移築、S33・H24改修	榎津(えのきづ)の町並みに所在する浄土真宗寺院。本堂は入母屋造り平入りで、正面向拝を付し、内部は典型的な浄土真宗本堂の間取り。向拝廻りと内外障欄間に華やかな彫刻を施す。離れ座敷は本堂の背面に接続し、続き間座敷とその周囲に廊下を巡らす。床構えは床脇の奥まった配置に地域色があがる。山門は切妻造り棧瓦葺きの薬医門で、木柄太く質実。木工で知られる町並みの歴史的景観を形成する。	学校 建築物	2
103	浄福寺本堂	福岡県大川市	天保5(1834)/H16改修	旧城下の市街地にある味噌醸造施設。石倉は江戸切り仕上げの切石積みで、人吉地方の溶結凝灰岩を用いて近代に数多く建築された。麹室は石倉前面にあるコンクリートブロックと木造の建物で、切妻造りの屋根を備える。元は北東側に鞠室を設けた。地方色ある味噌醸造の歴史的景観を伝え、現在は貸しスペースとして活用する。	宗教 建築物	1
104	浄福寺離れ座敷	福岡県大川市	T5頃/H16・同28・R3改修	旧城下の市街地にある味噌醸造施設。石倉は江戸切り仕上げの切石積みで、人吉地方の溶結凝灰岩を用いて近代に数多く建築された。麹室は石倉前面にあるコンクリートブロックと木造の建物で、切妻造りの屋根を備える。元は北東側に鞠室を設けた。地方色ある味噌醸造の歴史的景観を伝え、現在は貸しスペースとして活用する。	宗教 建築物	2
105	浄福寺山門	福岡県大川市	M5頃	旧城下の市街地にある味噌醸造施設。石倉は江戸切り仕上げの切石積みで、人吉地方の溶結凝灰岩を用いて近代に数多く建築された。麹室は石倉前面にあるコンクリートブロックと木造の建物で、切妻造りの屋根を備える。元は北東側に鞠室を設けた。地方色ある味噌醸造の歴史的景観を伝え、現在は貸しスペースとして活用する。	宗教 工作物	1
106	街蔵石倉(旧緑屋石倉)	熊本県人吉市	M35頃/S16頃移築	温泉街にある公衆浴場で、入母屋造りの正面に庇を付け、男女別の入口を開け、番台を置く典型的な造り。脱衣室と浴場で田の字形平面として、本来はガラス戸を多用した明るい空間。令和二年熊本豪雨の被害から復旧に向けて有志が活動する。	産業2次 建築物	1
107	街蔵麹室(旧緑屋麹室棟)	熊本県人吉市	S16頃/同41改修	温泉街にある公衆浴場で、入母屋造りの正面に庇を付け、男女別の入口を開け、番台を置く典型的な造り。脱衣室と浴場で田の字形平面として、本来はガラス戸を多用した明るい空間。令和二年熊本豪雨の被害から復旧に向けて有志が活動する。	産業2次 建築物	1
108	公衆温泉新温泉	熊本県人吉市	S6頃	温泉街にある公衆浴場で、入母屋造りの正面に庇を付け、男女別の入口を開け、番台を置く典型的な造り。脱衣室と浴場で田の字形平面として、本来はガラス戸を多用した明るい空間。令和二年熊本豪雨の被害から復旧に向けて有志が活動する。	文化福祉 建築物	2
109	旧江夏岩吉家住宅主屋	宮崎県都城	T15/S10増築・R3改修	大淀川(おおよどがわ)沿いに所在する味噌醸造業を営む旧家の邸宅。西面に玄関を設け、南東に広がる庭に面して続き間座敷と広縁を巡らす。東側に増築した洋室は、外壁を石積み風モルタル塗り洗い出し仕上げとする。全体に良材を用いた上質な近代和風建築。	住宅 建築物	2

注

建設年代: Eは江戸、Mは明治、Tは大正、Sは昭和、Hは平成、Rは令和の略。

種別: 土木は土木構造物、工作物はその他工作物の略。

基準: 1は国土の歴史的景観に寄与しているもの、2は造形の規範となっているもの、3は再現することが容易でないもの。